

平成25年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会  
3日目：平成25年5月25日(土)  
会場：岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム・で愛ドーム

## 男子の部

＜審判＞

Aブロック決勝	岐阜農林	87	$\begin{bmatrix} 14 - 11 \\ 23 - 13 \\ 21 - 7 \\ 29 - 3 \end{bmatrix}$	34	岐阜総合	大豆村斉・伊藤潤
Bブロック決勝	大垣養老	80	$\begin{bmatrix} 21 - 19 \\ 14 - 11 \\ 22 - 13 \\ 23 - 16 \end{bmatrix}$	59	中津川工	松野瑞穂・名越龍男
Cブロック決勝	富田	81	$\begin{bmatrix} 17 - 12 \\ 15 - 4 \\ 24 - 5 \\ 25 - 14 \end{bmatrix}$	35	斐太	相宮俊郎・宮崎泰彦
Dブロック決勝	美濃加茂	87	$\begin{bmatrix} 19 - 13 \\ 18 - 7 \\ 27 - 6 \\ 23 - 22 \end{bmatrix}$	48	可児工	菅野浩・鈴木雅雄
5位決定予備戦	岐阜総合	71	$\begin{bmatrix} 18 - 13 \\ 16 - 15 \\ 14 - 18 \\ 12 - 14 \\ 11 - 8 \end{bmatrix}$	68	中津川工	小森邦弘・田中昭博
5位決定予備戦	斐太	86	$\begin{bmatrix} 14 - 16 \\ 33 - 14 \\ 21 - 18 \\ 18 - 20 \end{bmatrix}$	68	可児工	川上亮輔・室谷伸治
決勝リーグ	岐阜農林 (1勝)	111	$\begin{bmatrix} 26 - 10 \\ 26 - 22 \\ 26 - 11 \\ 33 - 13 \end{bmatrix}$	56	大垣養老 (1敗)	角平和優・篠田義貴

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり岐阜農林は⑤田中⑬野原のリバウンドからの早い攻めで勢いにのり、次々とシュートを決めていく。対する大垣養老は⑦松岡がボールをコントロールし、④木村があわせてシュートを決める。また大垣養老はディフェンスを1-2-2のゾーンプレスに変え何とか追い継ろうとするが、第1ピリオドは26-10で岐阜農林がリードして終了。

第2ピリオド、岐阜農林はベンチメンバーを起用し、余裕のある戦いを繰り広げる。⑧福永⑰大坪がハイポストを使い大垣養老のゾーンディフェンスをうまく攻め得点する。対する大垣養老は⑥鍵弥のドライブ、⑤木全が前半で3点シュートを5本決めて粘るが点差を詰められない。前半は、岐阜農林が52-32とリードして終了。

後半に入っても、岐阜農林の勢いは止まらない。⑥寺内のリバウンドシュート、④吉田の速攻、⑬野原のミドルシュートで更に加点していく。大垣養老は⑦松岡⑤木全⑥鍵弥の3点シュートが決まるが、点差を縮めるまでには至らない。岐阜農林が78-43と更に点差を広げて終了。

第4ピリオド、岐阜農林は主にベンチメンバーが出場するが、オールコートマンツーマンディフェンスでプレッシャーを緩めない。このピリオドだけで⑫酒井が4本の3点シュートを決め、最後までよく走って得点を重ねる。シュート力に優る岐阜農林が111-56で快勝し、決勝リーグ1勝目をあげた。大垣養老は巧みな個人技を生かし、粘り強いプレーを続けたが、相手のスピードと力強さには及ばなかった。(林紗規子)

決勝リーグ	美濃加茂 (1勝)	82	$\begin{bmatrix} 16 - 7 \\ 28 - 17 \\ 22 - 13 \\ 16 - 24 \end{bmatrix}$	61	富田 (1敗)	神山元秀・野々村日希
-------	--------------	----	---	----	------------	------------

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。美濃加茂は⑥武藤のゴール下シュート、相手のターンオーバーから速攻に走り⑦堂藤④木村がシュートで決めていく。富田は⑩津谷のミドルシュートや⑬山田のドライブで得点するが、ゴール下のシュートを決めきれず思うように得点が伸びない。第1ピリオドは16-7で美濃加茂がリードする。

第2ピリオド、美濃加茂は⑧海津⑫瀬瀬⑬真鍋が確率良くミドルシュートを決め⑤坂之下⑥武藤⑦堂藤のリバウンドシュートで更に得点を伸ばしていく。富田は⑬山田が1対1からレイアップ、ゴール下に合わせのプレーで⑩大滝⑫唐田が得点するが点差を縮めることができない。前半は44-24で美濃加茂がリードする。

第3ピリオドに入っても美濃加茂の勢いは止まらず⑧海津のゴール下シュート、⑫瀬瀬⑮沼田のミドルシュートで得点していく。富田は流れを変えようとマンツーマンディフェンスからダブルチームでトラップを仕掛け相手のミスを誘い、④真鍋の速攻、⑩大滝⑬山田のミドルシュートで得点する。美濃加茂のリードは更に広がり66-37となる。

第4ピリオドに入っても美濃加茂⑧海津⑥武藤らがシュートを決め、リードを守り切って82-61で勝利し、決勝リーグ1勝目をあげた。富田はトラップディフェンスがうまく機能し、ボールを奪って⑦元井⑨牧田⑫唐田がミドルシュートを決めるが、そこまでの点差を埋めることはできなかった。(吉福司)

## 女子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜女子	142	$\begin{bmatrix} 35 - 8 \\ 37 - 3 \\ 44 - 6 \\ 26 - 16 \end{bmatrix}$	33	富田	小森裕子・瀬川雄一郎
Bブロック 決勝	県岐阜商	114	$\begin{bmatrix} 28 - 9 \\ 28 - 14 \\ 27 - 9 \\ 31 - 6 \end{bmatrix}$	38	岐阜農林	大江裕之・廣瀬卓哉
Cブロック 決勝	岐阜総合	58	$\begin{bmatrix} 13 - 15 \\ 19 - 7 \\ 10 - 9 \\ 16 - 12 \end{bmatrix}$	43	土岐商	棚橋英一・古田 怜
Dブロック 決勝	高山西	90	$\begin{bmatrix} 30 - 7 \\ 17 - 12 \\ 23 - 10 \\ 20 - 16 \end{bmatrix}$	45	長良	増田博徳・河村好展

5位決定 予備戦	岐阜農林	92	$\begin{bmatrix} 28 - 6 \\ 21 - 13 \\ 28 - 13 \\ 15 - 13 \end{bmatrix}$	45	富田	小池匡弥・小森公貴
-------------	------	----	---	----	----	-----------

5位決定 予備戦	土岐商	81	$\begin{bmatrix} 26 - 10 \\ 16 - 14 \\ 15 - 22 \\ 24 - 16 \end{bmatrix}$	62	長良	津田健介・佐伯和哉
-------------	-----	----	--	----	----	-----------

決勝リーグ	岐阜女子 (1勝)	89	$\begin{bmatrix} 18 - 14 \\ 24 - 10 \\ 31 - 9 \\ 16 - 18 \end{bmatrix}$	51	岐阜商 (1敗)	谷口武久・佐々木崇
-------	--------------	----	---	----	-------------	-----------

両チーム、ハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。両チーム、立ち上がりは、シュートを打つものの得点につながらない。開始後3分、岐阜女子が⑤坂田のシュートや、④鐘ヶ江の3点シュートで先行する。対する岐阜商は、⑦宮田、⑤津谷の3点シュートや⑮川島のミドルシュートでくらく。第1ピリオドは18-14と岐阜女子の4点リードで終える。

第2ピリオド序盤、岐阜女子は相手の好守に阻まれ、なかなか得点が伸びない。中盤になると、岐阜女子がセットプレーから⑮原のシュート、⑦大橋の速攻から連続8得点を重ね、リードを広げていく。岐阜商は⑯藪下のポストからのシュートで反撃する。岐阜女子が18点リードで前半を折り返す。

第3ピリオドに入ると、岐阜女子はオールコートディフェンスでプレッシャーを強め、⑧田中の連続得点などで完全にゲームの主導権を握る。さらに⑮原のシュートやリバウンドで、安定したオフェンスを見せ、大きくリードする。岐阜商は、開始3分でタイムアウトをとり、センターを中心に攻めようとするが、相手の固いディフェンスに阻まれ思うように攻めることができない。

第4ピリオドに入っても、スピードやディフェンス力で上回る岐阜女子がリードを守り切って89-51で勝利し、決勝リーグ1勝目を挙げた。岐阜商は④塚原の速攻やドライブ、⑥中嶋のシュートで応戦し、オールコートディフェンスで最後まで必死の粘りを見せたが及ばなかった。(田中真紀)

決勝リーグ	高山西 (1勝)	69	$\begin{bmatrix} 20 - 18 \\ 18 - 5 \\ 19 - 21 \\ 12 - 7 \end{bmatrix}$	51	岐阜総合 (1敗)	菅野恵美子・岩永英夫
-------	-------------	----	--	----	--------------	------------

両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる第1ピリオドは互いに相手の出方をうかがい、静かな立ち上がりとなる。高山西は⑧田中のスピード、④山下の個人技を生かして得点をあげれば、岐阜総合は⑦大野由がジャンプシュート、④片桐が3点シュートを決め互角の競り合いを見せる。第1ピリオドは高山西が20-18とリードする。

第2ピリオドに入ると、高山西は動きの良いディフェンスから速攻に走り、⑦橋爪の2本の3点シュート、⑩佐藤のジャンプシュートが決まり、次第にリードを広げていく。岐阜総合は相手のディフェンスに苦しみシュートがなかなか決まらない。⑥後藤がファウルトラブルでベンチに下がったこともあり、7分間ノーゴールと厳しい状況に置かれる。前半を終わり、高山西が38-23と15点のリードを奪う。

第3ピリオド、高山西は⑥根津、⑤野村綾の息のあったコンビネーションプレー、⑩佐藤の速攻や3点シュートなどで得点をあげ、主導権を譲らない。岐阜総合は⑤大野綾のドライブや、⑦大野由の3点シュートで懸命に追い上げを図るが点差は縮まらない。

第4ピリオド、高山西はスピードある攻撃で最後まで気を緩めず、リードを守り切って69-51で勝利し、決勝リーグの1勝目を勝ち取った。岐阜総合は懸命に追い上げようとするが、シュートが思うように決まらず、主力のファウルトラブルもあって、点差を詰めることができなかった。(岩井憲司)